

アポプラスキャリア ラーニングカフェ交流会 VOL.11

となりの産業保健 実務担当者に聞く“健康経営のリアル”

2016年度から始まった「健康経営優良法人認定制度」から10年。近年はSDGsの認知拡大も手伝って、働く人の健康に配慮ある企業が社会的にも支持される傾向にあるようです。一方で、健康経営担当者は、もがきながら自社の取り組みを行っている現実もあります。「あの会社はどうやって施策を動かしているのか」そんな疑問を解決すべく、19人の参加者と共に、となりの芝生をのぞいてみました。

開催日時：2026年2月20日 16:00-18:30

会場：新東京ビル

講師：久保さやか / 保健師

アポプラスキャリア株式会社

エグゼクティブアドバイザー

実務担当者が感じる、健康経営の効果と課題

今回は、アポカフェ初参加 / 健康経営優良法人2026申請済み / 健康管理実務経験5年以下 / 管理職・一般職の方が多く、事前アンケートから、健康経営の取り組みで得られた効果や課題が共有されました。携わったことへのポジティブな回答が多かった一方で、「変わらない」という回答が一定数あったことが実務のリアル。また、施策そのものよりも、人と組織の動かし方に困難を感じていることもわかりました。



仕組みを変えて動いた社員 & 気づいた実務担当者

ゲストスピーカーには、大手物流・プラント事業で健康経営に携わる実務担当者が登壇。IT担当から異動し、健康経営の理想と現実のギャップに直面した日々を振り返りました。社内報の作成、特定保健指導実施率2年連続100%達成までの道のりなど、具体的な成功事例を挙げ、「成功の鍵は産業医や保健師との密な連携にある」と紹介。一方で、成果が可視化されにくい活動ゆえに、「健康経営の価値をいかに伝えれば社員に届くのか模索している」と、抱える課題も共有しました。そして、施策を現場に浸透させるためのエッセンスとして、健康経営推進のリアルと地道な工夫を披露し、参加者は自社への応用を考えました。最後に、「今後も各部署との連携を強化しながら、社員にプラスになる施策を考えていきたい」と力強く抱負を語りました。



参加者の感想

他の企業様とのつながりが持て、現場の悩みや、健康経営の進め方に関してのリアルな意見交換ができた。



健康経営の実務にかかわる苦労とジレンマを知ることができ、どこのセミナーよりも共感が深かった。

上司も現場も巻き込む実践力に注目

「おかわりセッション」では、カフェオーナー、久保講師、ゲストスピーカーの3人が登壇。社長と距離が近く、直接対話し施策の実施に理解を求めることもあるというゲストスピーカーのコミュニケーションスキルや、チャレンジ精神旺盛な企画力に多くの質問が寄せられました。「集客が少なくても、めげずにオンライン配信などで発信し続ける」「若手女性向けの健康施策を男性社員も対象にしたところ理解が深まった」など、上司と身近な従業員の両方を巻き込み動かしていくことの重要性を共有しました。参加者の他社を知りたい思いも手伝って、交流が止まらない活気のある時間が流れ、参加者は笑顔で帰路につきました。

お問合せ先

アポプラスキャリア株式会社  
ヘルスケアソリューション事業部

〒100-0005

東京都千代田区丸の内三丁目3番1号  
新東京ビル7階